

上野村 神流川新羽ボルダー

2017.6.1 rctK

以前、十石峠で登った帰りや、実家の往復時などにちょっと立ち寄って登ったことがあるボルダーで、最近また近くを通り状況を確認してみたので簡単に幾つかを紹介する。

アクセスは車利用が良い。R299を神流町から上野村に入ると直ぐに、道路横に何台も止められる広い駐車スペースがあり、大きな村の観光案内版が設置されている。アプローチはそこから車道を反対側に渡ったところから土手を降りていく。河原手前に擁壁があるが、上流側に少し行くと、丁度 B 岩辺りの岩棚に簡単に降りられる。



《新羽ボルダーエリア》

上流側からエリアを見る。

各ボルダーのうち、A・B・D 岩を紹介する。岩質はチャートで増水すると取り付けなくなる課題もある。

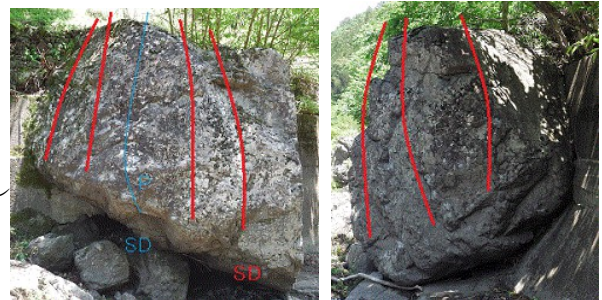


●A 岩

このボルダーは、以前は周りに木もなく乾いて快適な岩だったが、今は周りの灌木が茂って苔が付きやすくなっている。また、下地が悪くはなかったが、現在は中央のカンテ下辺りまで川の水が入り込んできており、カンテ辺りの課題は落ちた時に水に入ってしまう可能性がある。

上流側は細かなフェイス、。下流側は下がハングしており、中央辺りの SD 課題が未解決である。

左:下流側 右:上流側



●B 岩

B 岩は、見た目より易しく、ハングの左右のカンテに課題がある。

D 岩は、川沿いのボルダーで、中央から右側はランディングが悪く、余程の渇水期でないと、下地が乾いていない。以前訪れた時よりも悪くなっているような気がする。土砂流出で河床が上がり、水がボルダー周りに溜まるとなかなか引けなくなっているらしい。

左:B 岩 右:D 岩



《その他》

●橋倉川出合ボルダー

高橋から、橋倉川方面の林道に入り、少し先の橋倉川第二ダムへの道に入ると出合方面に降りていく踏み跡がある。

岩はチャートで確りしているが、増水による下地の変化が激しく取り付けなくなる時もある。特にお薦めできるというほどのボルダーではない。

●右岸ボルダー

旧道に車を置き、釣師が利用する踏み跡を川原に降りていく。下地は良く、意外と大きなフェイス・ハングなどがあるが、面白そうなラインは少ない。また、増水すると取り付けなくなるボルダーも多いので、渇水期に訪れるのが良い。